

開講日	2024年春期 木曜日 18:30-20:00	講義場所	医学部研究棟11階 講義室A
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学分野 教授 中村 敦		
科目概要および期待される成果	<p>【概要】 2019年末の出現から4年を経過した現在もお、わが国の新型コロナウイルス感染症は終息に至っていません。近年新興・再興感染症の波が到来するインターバルが短くなってきており、医療従事者のみならず日本中、世界中の人々が今後の感染症パンデミックへの備える必要があります。病原体の性質、病原性、伝播性によって対応に相應の振れ幅はあるものの、感染症に対するアプローチの根幹は変わりません。本講座では、日頃より感染症診療、感染管理に関わっているさまざまな職種 of 専門家とともに、皆さんに是非知って頂きたい感染症の基本から最新情報までを学習する機会にしたいと思います。</p> <p>【期待される成果】 感染症に関する基本的知識に加え、最新の情報や現在抱えているさまざまな問題を学ぶことにより、安心・安全で質の高い医療を提供できることを目指します。</p>		
目標とする資格	ICD制度協議会: インフェクションコントロールドクター (ICD), 日本感染症学会感染症専門医, 日本化学療法学会: 抗菌化学療法認定医・認定歯科医師・認定薬剤師, 日本看護協会: 感染管理認定看護師 (CNIC), 日本病院薬剤師会: 感染制御認定薬剤師, 日本臨床微生物学会感染制御認定臨床微生物検査技師 (ICMT)		

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
休講				4月11日	【休講】(8月1日に振替え)
L-1	1	細菌感染症の基礎知識	病原微生物の細菌について、構造、特性、種類などの基本的なことや、どのような感染症を引き起こすのかについて講義します。	4月18日	名古屋市立大学大学院医学研究科細菌学教授 長谷川 忠男
L-2	2	ウイルス感染症の基礎知識	ウイルスを理解するために必要な基礎医学の知識から、ウイルスが病気を起こす仕組みとワクチンの基礎までを説明します。	4月25日	名古屋市立大学大学院医学研究科ウイルス学教授 奥野 友介
L-3	3	感染症の臨床検査	早期に病原性微生物の検出を行うことは、感染症診療支援においては必須であり重要です。感染症における有用な臨床検査から微生物検査を中心にお話します。	5月9日	名古屋市立大学病院感染制御部/診療技術部臨床検査技術科微生物検査係 係長 近藤 周平
L-4	4	昨今の寄生虫事情	「虫の居所が悪い」「腹の虫がおさまらない」古くから私たちは寄生虫とともにありました。衛生環境の改善とともになくなったかのような寄生虫の現状をお伝えします。	5月16日	名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学教授 名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院感染症・総合内科部長 長谷川千尋
L-5	5	災害時に注意が必要な感染症	災害時には避難所などの集団生活による感染症だけでなく、ダニや粉塵による感染症に注意が必要です。災害関連疾病を防ぐための感染症対策についてお話します。	5月23日	名古屋市立大学大学院医学研究科救命救急医療学教授 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター救命救急センター長 松嶋 麻子
L-6	6	重症感染症患者の全身管理	敗血症では、感染臓器以外の多臓器にも障害が及び、死亡率も高いです。原疾患の治療とともに多臓器をサポートする治療が必要となります。	5月30日	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔・集中治療医学分野 講師 名古屋市立大学病院集中治療部 副部長 田村 哲也
L-7	7	呼吸器感染症のトピックス	臓器別感染症の中で呼吸器感染症はもっとも頻度の高いものです。呼吸器感染症の概説から新型コロナウイルスを含めたトピックスについて講義します。	6月6日	名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学准教授 名古屋市立大学病院感染制御部/呼吸器アレルギー内科副部長 伊藤 穰
L-8	8	消化器外科感染症のトピックス	腹腔内感染症(急性虫垂炎、急性胆嚢炎)と手術部位感染(縫合不全や腹腔内膿瘍)の治療方法を、動画も用いて解説します。	6月13日	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院准教授/消化器・一般外科部長 若杉 健弘
L-9	9	皮膚・軟部組織感染症のトピックス	皮膚は最も外界に近く、細菌への暴露機会が多い臓器です。この講義ではニキビやとびひの様によくみる皮膚感染症から、壊死性筋膜炎などの重症感染症まで、診断と治療のアップデートを目的に解説を行います。	6月20日	名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学准教授 名古屋市立大学病院皮膚科副部長 加藤 裕史
L-10	10	感染対策の基本と応用	感染対策の基本である標準予防策をはじめとし、アウトブレイクを含めた感染症発症時の対応まで、感染対策の基本と応用について事例を用いながらお話します。	6月27日	名古屋市立大学病院感染制御部 主査 田上 由紀子
L-11	11	明日からでも関われるHIV感染症/AIDS診療	ヒトは抗HIV療法によりHIVと共に生きられます。本講義はHIVと共に生きる人々の診療に必要な知識の獲得を目的とします。	7月4日	名古屋医療センター エイズ総合診療部長 横幕能行
L-12	12	尿路・性感染症のマネージメント	尿路感染症は日常診療で頻繁に遭遇する感染症です。また、性感染症については、現在梅毒や尿道炎などが増加しているといわれています。尿路感染症や性感染症について、知識を整理していただけるよう努めます。	7月11日	名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学 講師 恵谷 俊紀
L-13	13	その他の話題/本講座復習編	その他の話題として、講義時点の状況により臨機応変に新たな話題を提供します。後半は本講座のL-1～12までの講義について復習し、本講座で得られた知識を再確認しましょう。	7月18日	名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学教授 名古屋市立大学病院感染制御部部長 中村 敦
L-14	14	知っておきたい抗菌薬	感染症治療薬は、適正に投与することが重要です。COVID-19に対する治療薬も含めて、感染症治療薬の「基本的知識」から「実際にどう使うか」まで、最近のトピックを含めわかりやすくお話します。	7月25日	名古屋市立大学病院感染制御部/薬剤部 大橋 一輝
L-15	15	感染症診療のロジック	感染症診療における考え方を5つのロジックで紐解き、患者の多種多様な訴えにどうアプローチしていくか、具体的な道筋を解説します。	8月1日	名古屋市立大学大学院医学研究科感染症学 教授 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター感染症内科 部長 伊東 直哉